

1 富山県の動き

(1) 概況

本県経済をみると、個人消費は、令和6年能登半島地震前は、緩やかに回復しつつあったが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。住宅建設は、令和6年能登半島地震前は、弱含んでいたが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。設備投資は、増加している。公共投資は、おおむね横ばいとなっている。生産は、令和6年能登半島地震前は、持ち直しの兆しがみられたが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。雇用情勢は、令和6年能登半島地震前は、改善の動きにやや弱さがみられたが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。企業倒産の件数は、一桁台となっている。消費者物価は、上昇している。以上のように**最近の本県の景気は、令和6年能登半島地震前は、持ち直していたが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。**

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（11月）	96.6	4.8%	1.7%
鉱工業在庫指数（11月）	115.8	▲0.7%	3.4%
大型小売店販売額（11月）	113億17百万円	（全店ベース）	3.0%
新設住宅着工戸数（11月）	398戸	▲13.7%	9.9%
消費者物価指数（12月・富山市）	107.8	▲0.1%	3.4%
有効求人倍率（12月・季節調整値）	1.41倍	▲0.01ポイント	▲0.21ポイント

※鉱工業生産指数・在庫指数は、平成27年＝100

※消費者物価指数は、令和3年7月分発表時より令和2年基準に改定

※有効求人倍率は、令和4年12月以前の数値を新季節指数により改定

(2) 個人消費

個人消費は、令和6年能登半島地震前は、緩やかに回復しつつあったが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、10月は110億44百万円の後、11月は113億17百万円で前月比2.5%増（前年同月比3.0%増、既存店のみでも前年同月比3.0%増）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、11月は3,477台で前年同月比8.8%増の後、12月は2,922台で同4.4%増となった。

(3) 住宅建設

住宅建設は、令和6年能登半島地震前は、弱含んでいたが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。新設住宅着工戸数をみると、10月は総戸数461戸（前年同月比0.6%減）の後、11月は総戸数398戸（同9.9%増）で、内訳をみると、持家は207戸（同9.6%減）、貸家は157戸（同65.3%増）、分譲住宅は33戸（同10.8%減）などとなっている。

(4) 設備投資

設備投資は、増加している。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」(令和5年12月調査)により、令和5年度設備投資計画をみると、富山県は、全産業で前年度比14.7%増となった(ソフトウェア投資額を除く)。内訳は、製造業で前年度比33.2%増、非製造業で前年度比3.2%増となった。

(5) 公共投資

公共投資は、おおむね横ばいとなっている。公共工事前払金保証事業統計(北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)調べ)で公共工事請負金額をみると、11月は72億74百万円の後、12月は44億49百万円で前年同月比9.9%減となった。また、令和5年10月ー令和5年12月期の平均額は、64億48百万円で前年同期比19.9%増となった。

(6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、令和6年能登半島地震前は、持ち直しの兆しがみられたが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。鉱工業生産指数(平成27年=100、季節調整済)は、10月に92.2となった後、11月は前月比4.8%上昇の96.6(前年同月比1.7%上昇)となった。業種別に動き(前月比)をみると、13業種中、汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業など3業種が上昇し、電気機械工業、食料品工業、窯業・土石製品工業など10業種が低下となった。鉱工業生産者製品在庫指数は、10月に116.6となった後、11月は前月比0.7%低下の115.8(前年同月比3.4%上昇)となった。業種別に動きをみると、13業種中、化学工業、その他工業、窯業・土石製品工業など6業種が上昇し、電気機械工業、金属製品工業、プラスチック製品工業など7業種が低下となった。

(7) 雇用情勢

雇用情勢は、令和6年能登半島地震前は、改善の動きにやや弱さがみられたが、現時点では、まずは地震による県内への影響全体について十分に把握する必要がある。月間有効求人数(パート含む)は12月に22,297人(前年同月比6.7%減)、月間有効求職者数(パート含む)は12月に15,008人(同6.5%増)となった。有効求人倍率(季節調整済)は、11月に1.42倍の後、12月は1.41倍となった。

(8) 企業倒産

企業倒産件数は、一桁台となっている。企業倒産(負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調)の状況をみると、11月に5件、負債総額4億62百万円(前年同月:同数、2億69百万円増)の後、12月の件数は6件で、負債総額17億83百万円(前年同月:1件減、6億48百万円減)となった。産業別では、建設業で2件、製造業で1件、不動産業で1件、運輸業で1件、サービス業他で1件だった。破綻原因は、放漫経営1件、販売不振5件だった。

(9) 物価

消費者物価は、上昇している。富山市の消費者物価指数(令和2年=100)をみると、総合指数は、11月は107.8で前月比0.1%下落(前年同月比3.7%上昇)となった後、12月は107.8で前月比0.1%下落(同3.4%上昇)となった。前月比で「教養娯楽」などが上昇したものの、「被服及び履物」などが下落したため、総合指数の前月比は下落。また、生鮮食品を除く総合指数は107.4で、前月比0.1%下落(前年同月比3.1%上昇)、生鮮食品の指数は115.8で、前月比1.0%上昇(同9.3%上昇)となっている。

また、国内企業物価指数を見ると、11月は119.6で前月比0.3%上昇(前年同月比0.3%上昇)

となった後、12月は119.9で前月比0.3%上昇（同水準）となった。

(10) その他の動き

① 工業の動き（11月～12月）

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	<p>自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、足りている。</p> <p>金属工作機械については、生産は減少、出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、不足している。</p>
電子電気機械	<p>電子機器等については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、足りている。</p> <p>半導体製造装置については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>変圧器、配電盤については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状は低調、見通しは堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
輸送機械	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
金属製品	<p>アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>民生用包装容器については、生産は減少、出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
鉄鋼	<p>生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>医薬品については、生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状は低調、見通しは堅調となっている。雇用状況については、不足している。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状は低調、見通しは堅調となっている。雇用状況については、不足している。
木材・木製品	需要、価格ともに横ばいとなっている。見通しは、不透明となっている。
プラスチック	<p>車両関連については、生産は横ばい、出荷は増加となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産は横ばい、出荷は減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	受注は横ばい、売上は減少となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。
繊維	出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。

② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

12月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は7,866人で、前年同月比4.6%減となった。主要産業別では、建設業（4.7%）、情報通信業（28.3%）、不動産業、物品賃貸業（29.6%）、医療、福祉（2.4%）等で増加し、製造業（▲5.2%）、運輸業、郵便業（▲7.7%）、卸売業、小売業（▲7.1%）、金融業、保険業（▲9.1%）、宿泊業、飲食サービス業（▲30.0%）、生活関連サービス業、娯楽業（▲32.5%）、サービス業（▲16.9%）、公務・その他（▲6.9%）等で減少した。労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、12月は1.41倍となり、前月比で0.01ポイント低下となり、前年同月比で0.21ポイント低下となった。

③ 近年の企業立地動向

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
雇用創出数	517人	424人	321人	356人	362人
企業立地件数	70件	72件	60件	60件	62件

※県独自集計

・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 418.0ha、分譲率 98%）

・最近の主な立地企業（令和4年1月以降、増設を含む）

企 業 名		業 種	竣 工 操業開始 年 月
ダイト株式会社（第十製剤棟）	富山市	医薬品製造	5年12月
日本重化学工業株式会社（高岡事業所 水素吸蔵合金工場）	高岡市	水素吸蔵合金製造	5年11月
カルバオン株式会社（入善工場）	入善町	産業機械製造	5年9月
株式会社大樹（本社工場増築）	射水市	包装資材製造	5年8月
株式会社SCREENホールディングス（高岡事業所）	高岡市	半導体製造装置製造	5年8月
Genky DrugStores株式会社（ゲンキー富山小矢部RPDC）	小矢部市	ドラッグストア事業	5年7月
ナレッジメディカル株式会社（本部社屋）	高岡市	医療機器販売	5年7月
リードケミカル株式会社（久金工場南 包装物流棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
富士化学工業株式会社（製剤第3棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
株式会社シキノハイテック（第二工場）	魚津市	電子機器製造	5年5月
株式会社不二越（油圧走行モータ第2工場）	滑川市	工具・工作機械製造	5年4月
ジャパンメディック株式会社（新工場）	富山市	医薬品製造	5年4月
株式会社リッチェル（本社R&Dセンター）	富山市	プラスチック製品製造	5年4月
十全化学株式会社（本社屋）	富山市	医薬品製造	5年3月
立山化成株式会社（新精製棟）	射水市	医薬品製造	5年3月
日東メディック株式会社（第1製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年12月
株式会社廣昌堂（新包装棟）	射水市	医薬品製造	4年12月
日本ゼオン株式会社（統合生産センター）	高岡市	合成ゴム・電子材料製造	4年10月
株式会社KMC（新本社・工場）	高岡市	金型製造	4年9月
NSK富山株式会社（高岡工場 新棟）	高岡市	産業機械用軸受製造	4年9月
タカノギケン株式会社（新工場）	富山市	電子部品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第7製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第6製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年6月
株式会社山口技研（新工場）	入善町	精密加工	4年6月
ダイト株式会社（第七原薬棟）	富山市	医薬品製造	4年5月
鹿島興亜電工株式会社（富山工場）	砺波市	電子部品製造	4年5月
エヌアイシ・オートテック株式会社（立山第3工場）	立山町	産業用アルミフレーム製造	4年4月
富山小林製薬株式会社（漢方棟）	富山市	医薬品製造	4年3月
立山化学株式会社（立山化学本部工場）	富山市	電子部品・電子機器製造	4年1月
新新薬品工業株式会社（総合管理センター）	富山市	医薬品製造	4年1月

2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>